

古川 忠正議員

中央ルートの建設について

問 国道202号から南側のバイパスまでの区間と、国道から北側の雷山川までの区間の概算工費は幾らか。また、国道から南側の事業において、国、県、糸島市の負担はどのようなになるのか。

答 国道202号から南側のバイパスまでの事業費は約80億円、国道202号から北側の雷山川までの事業費は約40億円である。

また、国道南側の負担内訳は、国が約44億円、県が約26億円、市が約10億円である。

問 九州大学の移転により中央ルートをつくる計画が立てられているが、教職員や学生について、福岡市方面、唐津市方面、糸島市から何人が通勤、通学しているのか。

答 現在、九州大学伊都キャンパスへ約1万2千人の教職員、学生が通っている。うち、約8割が福岡市方面からで、1割弱が唐津市方面からである。

糸島市在住の教職員、学生は約1千人である。

問 前原インターから志摩方面に行くルートを通れば、九州大学までの所要時間はそれほど変わらない。中央ルートのような大きな道がなくてもよいのではないか。

答 現在、志摩方面に行くルートで

の所要時間は約23分であるが、中央ルートが完成すれば所要時間は半分に短縮できる。

また、本事業は企業や研究機関を積極的に誘致し、地域経済の活性化のためにも必要不可欠である。

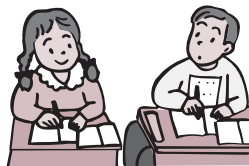
小中学校へのエアコンの設置について

問 今年の夏は30度以上の日が7月に21日間、8月に26日間あった。子どもはいくら暑くても我慢して勉強している。これで子どもたちの教育への環境整備ができていると言えるのか。

答 今日の地球規模の温暖化現象による気温の上昇は著しく、今までとは比較できないほどの暑さになっている。教育効果を上げるための環境整備として、暑さ対策が必要となっている。

問 全教室にエアコンを設置する場合、約9億円の予算が必要とのこと、一度に設置はできないが、条件によって教室の温度が大きく異なっているため、調査して対処すべきではないか。

答 教室の暑さ対策として、何らかの措置を取りたいと考えているが、エアコン設置には多額の費用を要するため、今のところ検討していない。



伊藤 千代子議員

市民を守る防災と九州電力のやらせ問題について

問 玄海原子力発電所の風下地域にある糸島市は、事故が起これば甚大な被害を受ける。命に関わる原発問題で、やらせや隠蔽工作を行った九州電力や原子力安全保安院に対してどのように考えるか。

答 原子力発電に対して市民の信頼を高めていく必要があるなか、許されないことであり、二度とこのようなことがないように望む。

問 伊都文化会館で千人規模の住民説明会を行うという説明があったが、どのように進めるのか。

答 具体的には何も決まっていらない。保安院から、再稼働前に説明会をしたいとの回答を受けている段階である。多数の市民が傍聴できるように形を要望している。

問 最大風速の場合、放射能は1時間で偏西風に乗ってくる。防災無線で知らせて、約10万人の市民を直ちに避難させることができるのか。また、防災専門委員会が検討されているのか。

答 避難行動計画については、県レベルでの広域的な計画策定を県に要望している。市の防災計画のなかに入る課題であり、専門委員会を検討する事項になる。

問 糸島市は自然に恵まれ、食料もエネルギーも自給ができる可能性を秘

財政を圧迫する中央ルート建設について

めている。わずかに4%というエネルギー自給率をどのように引き上げていくのか。また、目標値は設定しているか。

答 エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギーの導入を推進したい。

自給率の目標値は設定していない。

問 中央ルートの建設について、国道沿いの店舗、工場の移転は何年度に完了するのか。

答 平成24年度の完了予定で事業が進められている。

問 中央ルートは県の事業だが、半分ほど国からの補助金が交付される。国が東北地方の復興に莫大な費用を必要としているなか、緊急を要しない道路建設は中止させるべきではないか。

答 東北地方の復旧、復興も大変重要であるが、糸島地域の振興もまた重要であると認識している。



建設中の中央ルート

議会だより

吉丸 克彦議員

松くい虫による松枯れについて

問 松林の保全についてどのような対策を立てているのか。

答 本市では、松枯れを未然に防ぐための薬剤散布などの実施と、被害拡大防止のために伐倒駆除を実施している。本年度からは松林の所有者による松林内の下草刈りなども実施している。

問 虹の松原(唐津市)では、松林総面積の約260haのうち約156haに薬剤の空中散布を行っているが、糸島の海岸では実施できないのか。

答 平成21年度以降は、散布区域から200m以内に家屋がある場合は空中散布をしないよう林野庁から指導があり、現在、糸島市内では空中散布は実施していない。

問 個人所有の松林、単独松の松枯れはどのように処置しているのか。また、個人所有の松についても焼却を推進する必要があると思うが、どのように考えているか。

答 法で定められた高度公益機能森林、地区保全森林は市が管理しているが、個人所有の松林は、被害拡大防止のために、土地所有者が責任を持って処理すべきものと考えている。

問 松枯れの防除、松くい虫の駆除、植林、清掃については国や県、地域行政、付近の市町と連携はとれているのか。

るのか。また、九州大学などの研究機関との連携はどうか。

答 地域との連携については、松林の土地所有者が行政区であれば松林内の下草刈りなどの実施をしていただいている。県の林業研究センターにおいては、病害虫に強い松の研究が行われている。

また九州大学農学研究院にも、松枯れ対策について、現在相談の依頼を行っている。



美しい松林が続く幣(にぎ)の松原

議会インターネット中継を行っています。

<http://www.city.itoshima.lg.jp/site/gikai/>

糸島市議会では、議会のインターネット中継を行っています。議場に来ることができない方も、インターネットにつながっているパソコンを使って議会を傍聴することができます。ライブ(生)中継はもちろん、録画での配信も行っていますので、好きな時間に見ることが出来ます。ぜひ、ご利用ください。詳しくは、糸島市議会のホームページをご覧ください。



福岡県南市議会議長会の様子

第110回福岡県南市議会議長会

福岡県南市議会議長会が、10月7日に糸島市役所二丈庁舎で開催されました。

会議では、久留米市議会と開催市の糸島市議会が提出した左記の2議案が審議されました。

- ▼第1号議案(久留米市議会) 資源エネルギー対策の推進と原子力発電所の安全性強化について
- ▼第2号議案(糸島市議会) 離島振興対策の充実・強化について

審議の結果、2議案とも福岡県市議会議長会に提出されることが決定しました。

※福岡県南市議会議長会は、福岡県南部の19市議会議長により構成されています。